



2015年3月期 第2四半期 決算説明会

ケンコーマヨネーズ株式会社

2014年 11月 21日





・ 2015年3月期 第2四半期 決算の概況

・ 「中期経営計画 (フォース) 2012-2014」

市場演出型成長戦略の展開

・ 2015年3月期 業績予想



2015年3月期 第2四半期 決算の概況

常務取締役 財務経理本部長 村田 隆

1. 2015年3月期 食品業界動向

2015年3月期2Q 決算の概況



外食産業

- ・ 既存店売上高が伸び悩んでいるほか、食材価格および人件費の上昇により大幅な利益改善は難しい状況
- ・ 採算の確保に向け商品の値上げの実施

スーパーマーケット

- ・ 増税後は個人消費の低迷が顕在化
- ・ 円安を背景とした仕入れ価格の上昇や労働力確保に向けたパート・アルバイトの時給引き上げ
- ・ 新規出店によるスーパーマーケット同士の競争や、コンビニなど他業種との競合の激化

➡ 総菜売り場は堅調な推移

コンビニエンスストア (CVS)

- ・ 出店競争の激化に伴い、既存店売上の落ち込みが続いているが業界全体では伸長
- ・ 高齢化や世帯人員の減少によって出現している宅配・移動販売や生活支援機能の提供などの新たなニーズへの対応力の強化

2. 2015年3月期 第2四半期 決算の概況

2015年3月期2Q 決算の概況



■ 分野別・業態別対策の取り組みにより売上高増

売上高 300億91百万円 (前年同期比:3.9%増、予想比:0.4%減)

- 分野を細分化した業態別の個別対策によるきめ細やかな対応力
- タマゴ加工品を中心とするコンビニエンスストアでの新規採用

■ 卵価の高騰は想定以上ではあったが、経常利益は期初予想どおり推移

経常利益 12億70百万円 (前年同期比:18.7%減、予想比:0.7%減)

- 鶏卵相場の上昇による原材料価格の高騰やエネルギーコストアップの影響
- 静岡富士山工場の立ち上げ時の一時的な費用の発生

3. 2015年3月期 第2四半期 業績 (連結)



2015年3月期2Q 決算の概況

損益計算書の概要

単位: 百万円

	2014年3月期 第2四半期		2015年3月期 第2四半期				2015年3月期 第2四半期予想 (2014/5/12発表)	
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	予想比	金額	構成比
売上高	28,951	-	30,091	-	3.9%	0.4%	30,200	-
売上総利益	7,862	27.2%	7,728	25.7%	1.7%	-	-	-
販売管理費	6,207	21.4%	6,334	21.1%	2.0%	-	-	-
営業利益	1,655	5.7%	1,394	4.6%	15.8%	0.4%	1,400	4.6%
経常利益	1,561	5.4%	1,270	4.2%	18.7%	0.7%	1,280	4.2%
税金等調整前純利益	1,558	5.3%	1,302	4.3%	16.4%	-	-	-
四半期純利益	910	3.1%	736	2.4%	19.1%	9.9%	670	2.2%
1株当たり 四半期純利益	64円05銭		51円84銭				47円15銭	

4. 当社の取り組み(1) ~ 外食・CVS・量販店 ~



2015年3月期2Q 決算の概況

外食産業

- ・ ファストフード等の市場は厳しいが、分野別・業態別対策を中心に売上拡大への取り組みを推進
- ・ ソース類およびツナ等を使用した商品が新規採用

量販店

- ・ 当社の強みであるタマゴ製品やFDF®が着実に伸長
- ・ 既存商品の増加および商品リニューアル

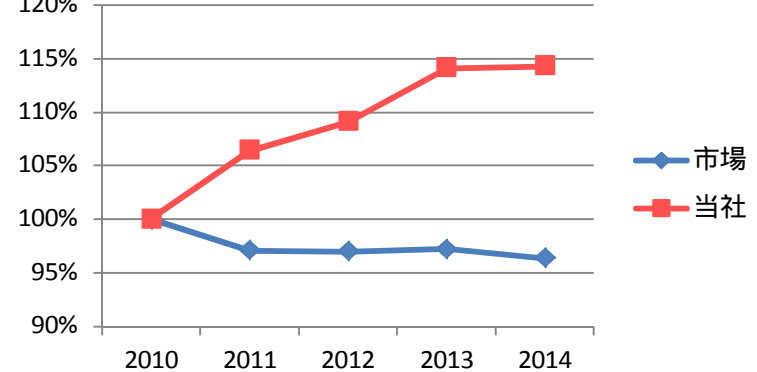
コンビニエンスストア (CVS)

- ・ 小型形態のポテトサラダやごぼうサラダの新規採用やオニオンを使用した商品の伸長
- ・ タマゴサラダや卵焼き、茹で卵等多様な加工形態のタマゴ加工品の新規採用

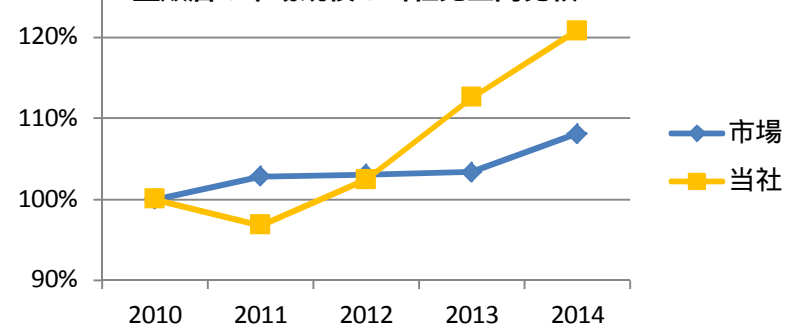
【出典】富士経済「2014年 食品マーケティング便覧 総括編」および「外食マーケティング便覧 2014 No.3」より抜粋。2010年との比較。2014年の数値は予想。

Copyright (C) 2014 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

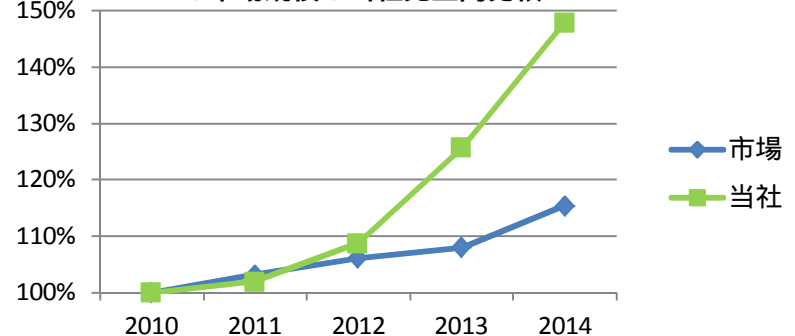
外食産業の市場規模と当社売上高比較



量販店の市場規模と当社売上高比較



CVSの市場規模と当社売上高比較



4. 当社の取り組み(2) ~ パン・給食業界 ~

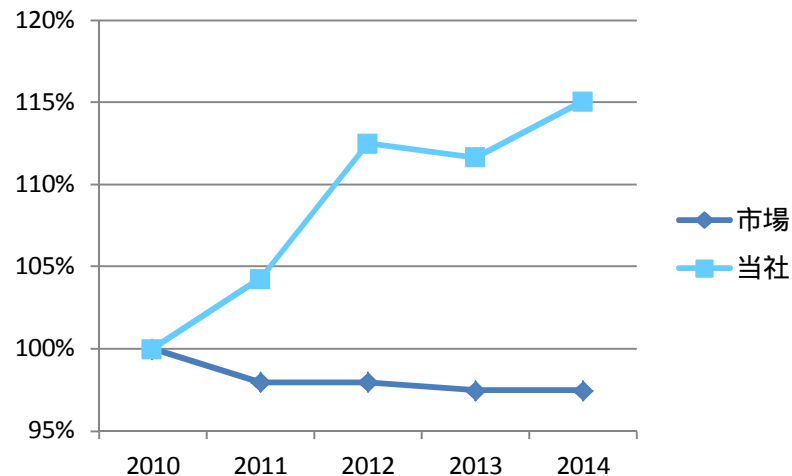
2015年3月期2Q 決算の概況



■ パン業界

- ・パンプキンサラダ等のFDF®が順調に推移
- ・焼きこみパン用のマヨネーズの伸長

パン業界(調理パン)の市場規模と当社売上高比較



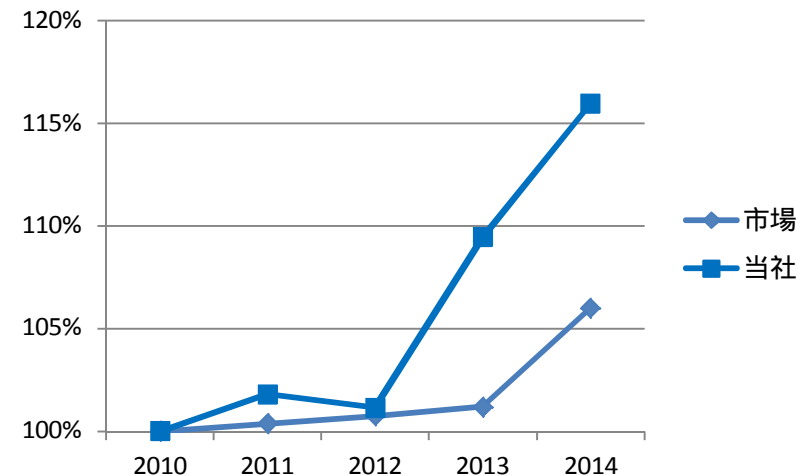
【出典】

矢野経済研究所「パン市場に関する調査結果2013」より「調理パン」を抜粋。2010年との比較。2014年の数値は見込み。

■ 給食業界

- ・同じ商品と食材で、幅広い献立メニューを提案
- ・やわらか食のラインナップ強化

給食業界の市場規模と当社売上高比較



【出典】

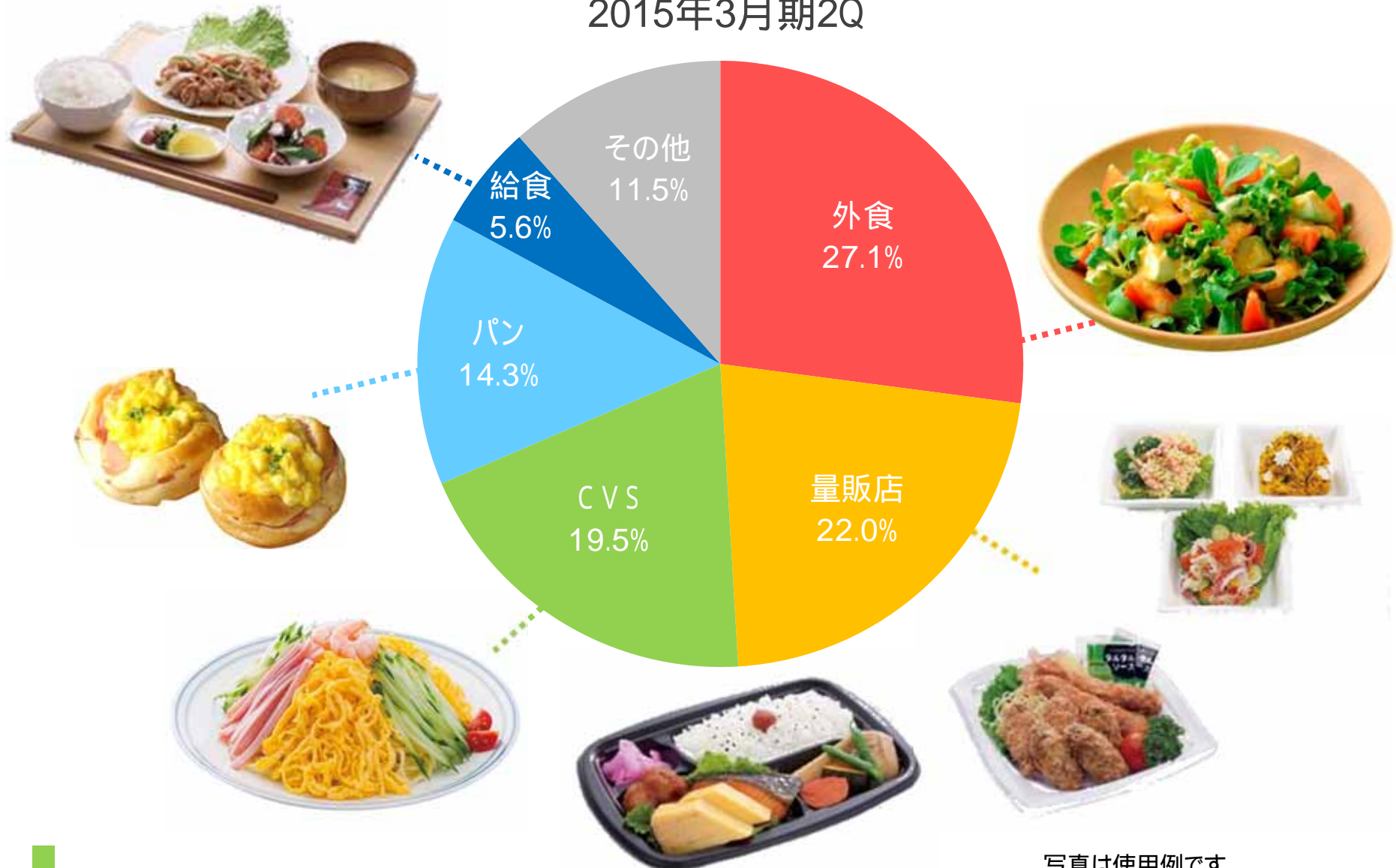
富士経済「2014年 食品マーケティング便覧 総括編」および「外食マーケティング便覧 2014 No.3」より抜粋。2010年との比較。2014年の数値は予想。

5. 分野別売上高構成比 (連結)

2015年3月期2Q 決算の概況



2015年3月期2Q



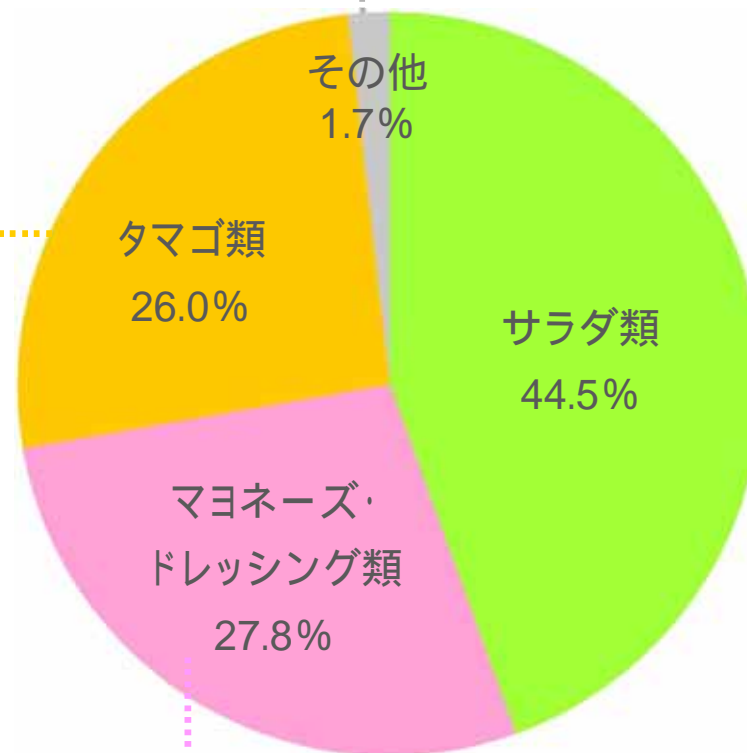
写真は使用例です

6. 商材別売上高構成比 (連結)



2015年3月期2Q 決算の概況

2015年3月期2Q



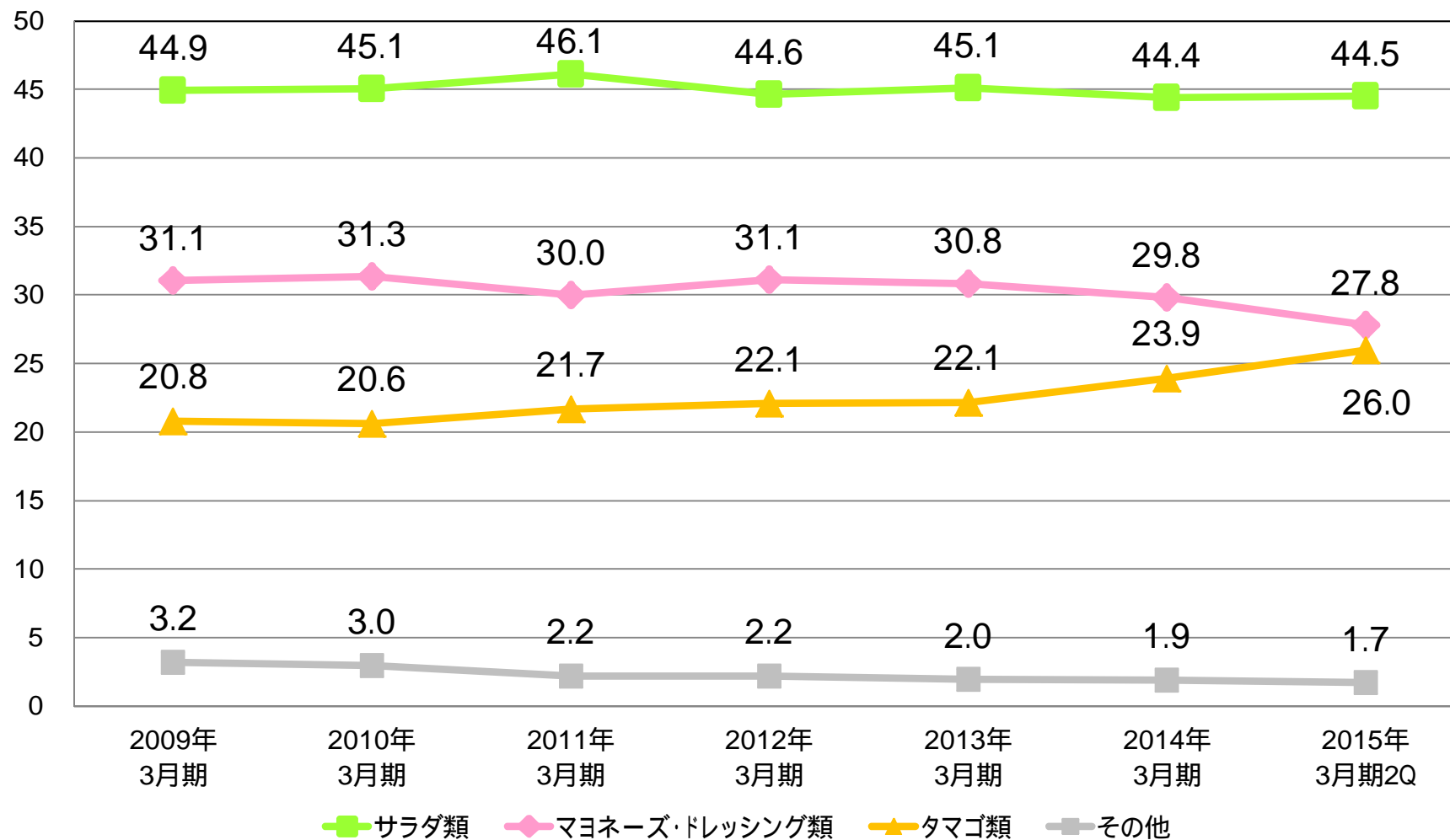
写真は使用例です

6. 商材別売上高構成比 (連結)

2015年3月期2Q 決算の概況



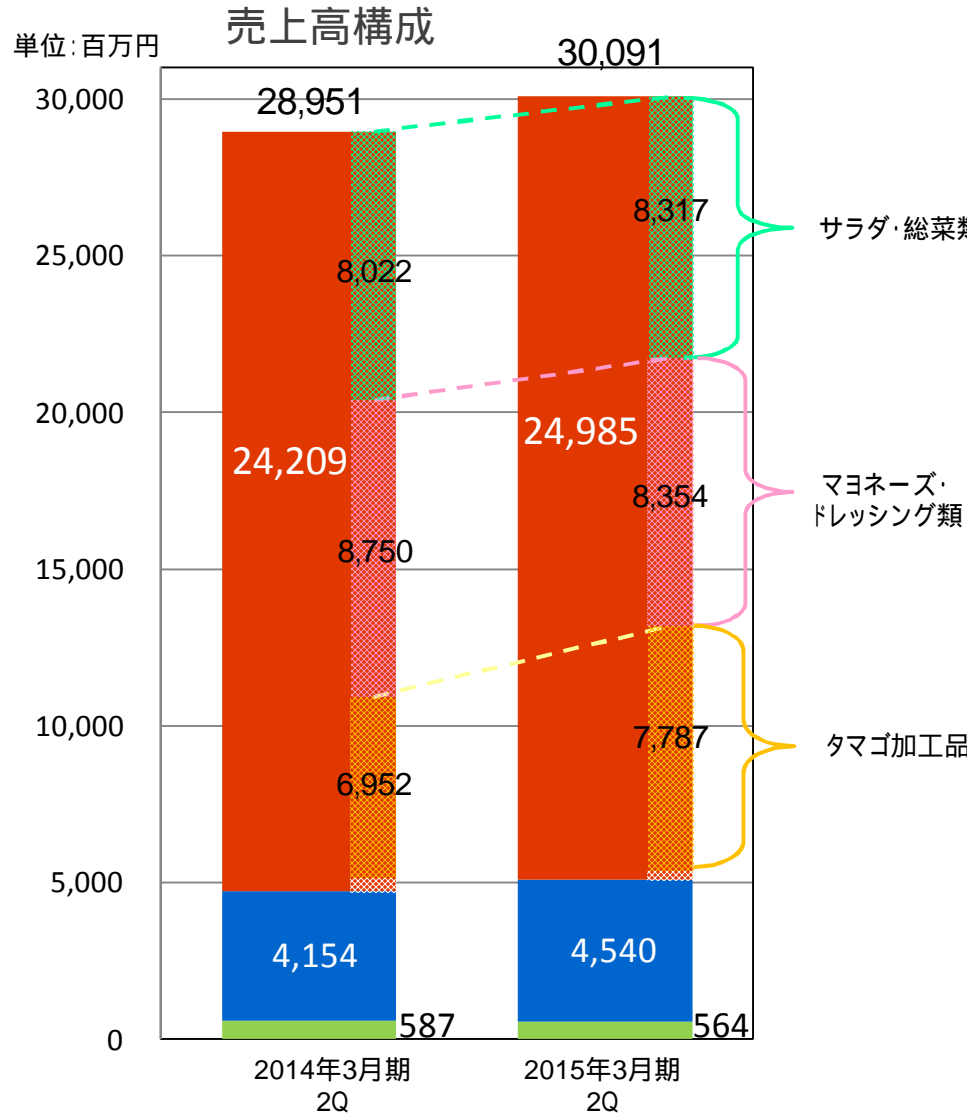
単位：%



7. 事業別売上高概況 (連結)



2015年3月期2Q 決算の概況



調味料・加工食品事業 (前期比 + 3.2%)

< サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品 >

- 販売重量：前年比増 (前期比 + 0.4%)
- 販売単価：前年比増 (前期比 + 2.9%)

商材別前期比	売上高	販売重量
サラダ・総菜類	+ 3.7%	+ 2.3%
マヨネーズ・ドレッシング類	4.5%	7.4%
タマゴ加工品	+ 12.0%	+ 10.6%

総菜関連事業等 (前期比 + 9.3%)

< フレッシュ総菜(日配サラダ、惣菜)、グループ内生産受託 >

- 量販店向けにパスタサラダ等の既存商品が増加
- 北海道エリア限定のカット野菜が堅調に推移

その他 (前期比 3.9%)

< ショップ事業(Salad Cafe)および海外事業 >

- 店舗：5月: Salad Cafe 高島屋京都店リニューアル
- サラダカフェ サラダ料理講習会の実施

調味料・加工食品事業 総菜関連事業等 その他

海外事業(2社)は、持分法適用会社のため売上高には含まれません

8. 2015年3月期2Q 事業別 売上高・セグメント利益（連結）

2015年3月期2Q 決算の概況



事業別売上高・セグメント利益

単位：百万円

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前期比	
			増減	%
売上高	28,951	30,091	1,139	3.9%
調味料・加工食品事業	24,209	24,985	775	3.2%
総菜関連事業等	4,154	4,540	386	9.3%
その他	587	564	23	3.9%
セグメント利益	1,561	1,270	291	18.7%
調味料・加工食品事業	1,360	1,244	115	8.5%
総菜関連事業等	331	149	181	54.9%
その他	117	134	17	-
調整額	13	10	23	-

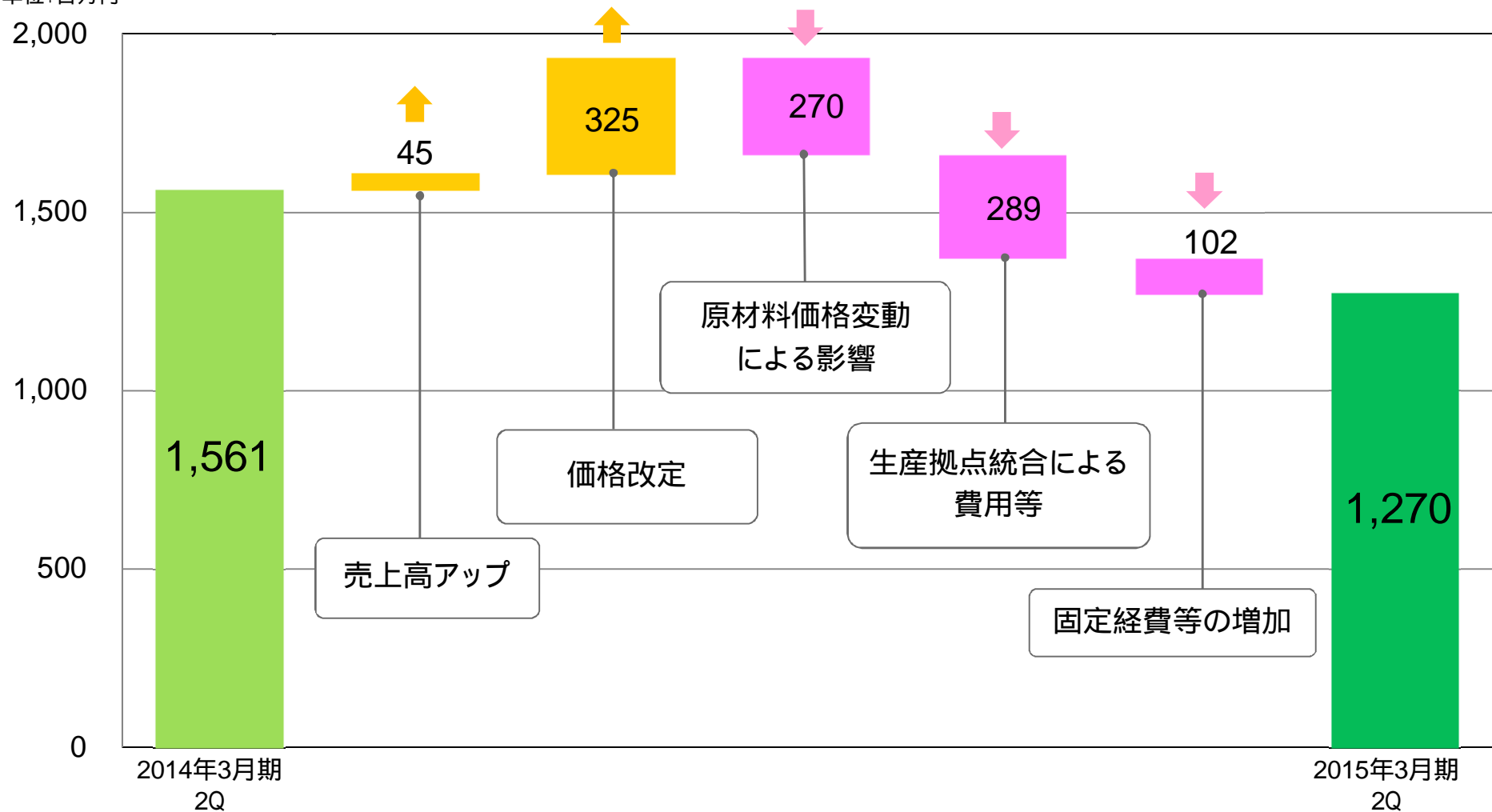
9. 経常利益増減要因 (連結)



2015年3月期2Q 決算の概況

経常利益増減要因

単位: 百万円



10. 貸借対照表の概要（連結）



2015年3月期2Q 決算の概況

単位：百万円

財政状況

* 長期未払金を含む

財政状況		2014年3月期	2015年3月期 2Q	増 減	前年度末比
資 産	流動資産	18,095	17,643	452	2.5%
	固定資産	21,590	21,352	238	1.1%
資産合計		39,686	38,996	690	1.7%
負 債	うち有利子負債残高 *	9,943	9,113	829	8.3%
		23,876	22,171	1,704	7.1%
純資産		15,810	16,824	1,014	6.4%
負債・純資産合計		39,686	38,996	690	1.7%
1株当たり純資産		1,112円55銭	1,183円94銭	71円39銭	6.4%
自己資本比率		39.8%	43.1%	3.3%	-

■ 有利子負債は829百万円の減少

■ 純資産の増加および総資産の減少により、自己資本比率43.1%の水準を確保

11. キャッシュフローの概要 (連結)

2015年3月期2Q 決算の概況



キャッシュフローの状況

単位:百万円

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増 減
営業活動によるCF	730	1,977	1,246
投資活動によるCF	523	2,592	2,069
財務活動によるCF	993	216	776
現金及び現金同等物の期末残高	7,119	3,485	3,634

- 営業CF:税金等調整前利益1,302百万円、減価償却費711百万円によるもの
- 投資CF:静岡富士山工場をはじめ、2,524百万円の有形固定資産支出によるもの
- 財務CF:1,543百万円の資金調達および1,171百万円の返済によるもの

「中期経営計画（フォース）2012-2014」
市場演出型成長戦略の展開

代表取締役社長 炭井 孝志



目標

市場演出型企業としての存在感アップを目指す

1. グローバル企業となる
2. 事業領域の拡大
3. 「サラダ料理」の確立・情報発信を行い、
市場演出型企業としての戦略を実践
4. サラダカフェブランドの推進・浸透
5. 人材育成、体制強化

目標

売上高 600億円

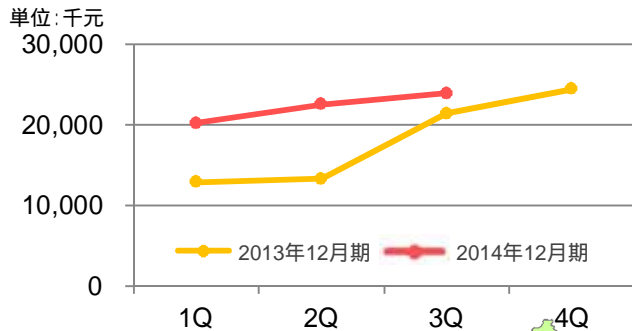
経常利益 27億円

1. グローバル企業となる

中期経営計画 (フォース)2012-2014



中国



売上高
堅調に推移

8月:
経営資源の集中のため統合
華東地区への
営業体制強化



海外輸出

25か国・地域に輸出 (2014年9月末)



インドネシア

市販用
マヨネーズ

業務用
マヨネーズ

液卵

順調に
販路を拡大

日本企業初!

TOPICS

2014年11月～
インドネシアハラール認証
製品輸入開始



海外拠点目標

単月黒字化

海外展示会への出展

SIAL Asean 2014(フィリピン)

PIR2014(ロシア・モスクワ)



2. 事業領域の拡大 ~ 市場演出型企業として ~

中期経営計画 (フォース)2012-2014



機能性商品の拡充

マヨネーズ・ドレッシング類



低カロリー・ノンオイル
高付加価値(ユージュレナ)



エッグフリー
粉末タイプ

世界のソース・世界のサラダ料理



世界のソース
18品



世界のサラダ料理
12品

(2015年3月期上期販売品目数)

サラダ・総菜類



甘系フィリング

TOPICS

2014年10月発売

- ・世界のサラダ料理シリーズ(リエット)
- ・ガーリックバターソースパウダー

B to C向け

お酒によく合うシリーズ第2弾

『サラダのプロがつくった お酒によく合う 明太子ごぼうサラダ』発売



2. 事業領域の拡大 ～ 市場演出型企業として ～

・中期経営計画 (フォース)2012-2014



ECサイト



7月リニューアル

チルド商品対応 (サラダ類・ドレッシング類)

ラインナップの充実

26品から101品へ (2014年9月末現在)

気になる新商品も購入可能に

ユーザーレビュー機能の追加

おすすめレシピの充実

カテゴリー別メニュー検索機能の追加

TOPICS

異業種との業務提携

11月

株式会社東芝との業務提携を発表

- ・マヨネーズ・ドレッシング・ソース類にかかわる提案
- ・サラダ専門店「Salad Cafe」のサラダに関する情報提供
- ・工場野菜にかかわるマーケティングおよび販売ルート情報の提供
- ・コラボレーション商品の企画・製造・販売の検討

「野菜を育て、サラダを作る」から

「サラダを育てる」へ



<コラボレーション商品イメージ>

3. 「サラダ料理」の確立、市場演出型企业の戦略

・中期経営計画 (フォース)2012-2014



Webの活用



合計約370レシピ ▶ 約**610**レシピ
 (2014年3月末) (2014年9月末)

ケンちゃんのサラダ料理教室

一般の方に向けて当社製品を使用したメニュー提案



メディア活用

『サラダトーク ~お仕事カフェ~』

ABCラジオ(1008kHz) 関西広域エリア

TBSラジオ(954kHz) 関東広域エリア

New!
10月~



<サラダトークにてゲストにご提案したメニュー例>

女性ファッション誌『InRed』(11月号)

「サラダのプロがつくった」サラダシリーズ広告掲載



4. サラダカフェブランドの推進・浸透

中期経営計画 (フォース)2012-2014



ショップ

5月 Salad Cafe 高島屋京都店リニューアル



関東にて
出店依頼増加中!

TOPICS

- 10月 Salad Cafe 阪神百貨店梅田本店 閉店
- 11月 Salad Cafe 小田急百貨店町田店 リニューアル
- 12月1日(予定)
Salad Cafe ザ・ダイヤモンド横浜店 新規オープン

レシピ提供



4月 東京書店
『とっておき! マリネレシピ』



7月 辰巳出版
『ぜんぶおうちで作れる
デパ地下・有名店の大人気マリネ』

サラダ料理講習会

「サラダカフェ」ファンの創出 (年5回の実施)



5. 人材育成、体制強化



人材育成

新入社員に対する育成

生産現場・開発部門・
グループ会社にて研修の実施

若手社員に対する育成

新卒1～3年目との面談を通して
課題や今後の目標を共有

TOPICS

全社員に対する育成
全員参加型の階層別研修の実施

総合職採用の全社プロジェクト化
全社員・全部署から面接官を選出し
大卒総合職の多面的な選考を実施

生産管理システムの強化
2015年3月期中に導入完了

工場業務の標準化・効率化

商品原価の見える化

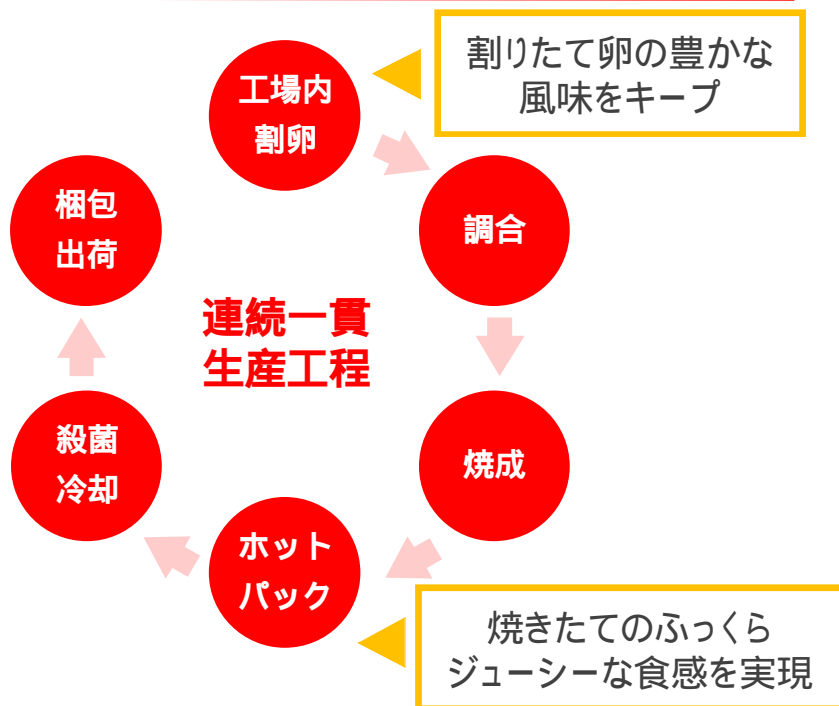
トレーサビリティの強化

【トピックス】静岡富士山工場

中期経営計画 (フォース)2012-2014



静岡富士山工場の特長



9月

株式会社関東ダイエツエッグ 新座工場 閉鎖
静岡富士山工場にて
生産効率の改善を図る

9月・11月

静岡富士山工場製ブランド『惣菜亭®』発売



【トピックス】当社グループ総合フェア

・中期経営計画 (フォース)2012-2014



当社グループ総合フェア

テーマ : Kenko Marché 2014 Fun Fan Find

東京会場 : 11月 5日(水)・ 6日(木)

大阪会場 : 11月18日(火)・19日(水)

来場者数 : 約3,900名(東京・大阪合計)

提案メニュー : 182レシピ



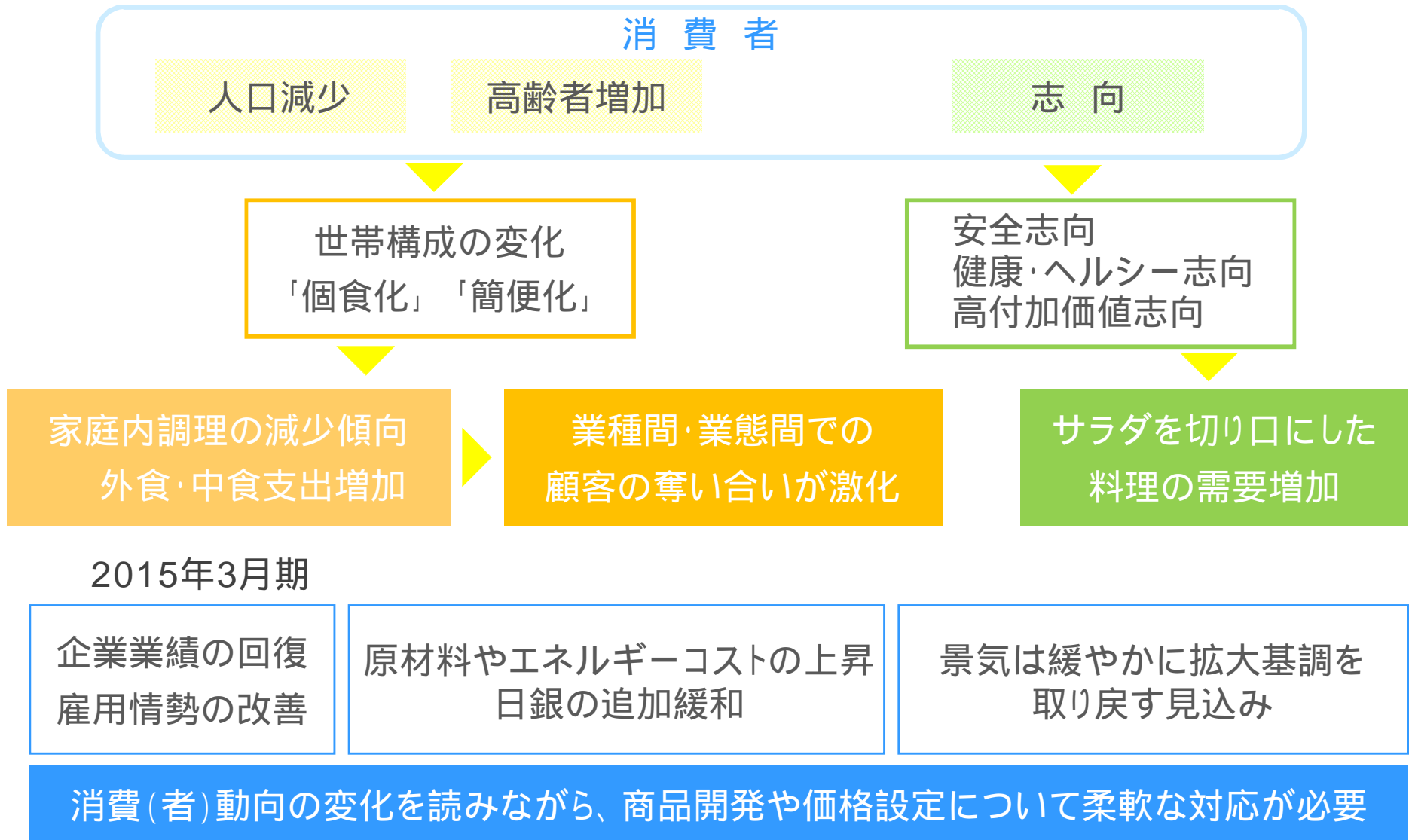


. 2015年3月期 業績予想

代表取締役社長 炭井 孝志

1. 業界を取り巻く環境

2015年3月期 業績予想



2. 2015年3月期 業績予想 (連結)



2015年3月期 業績予想

「中期経営計画 (フォース)2012-2014」の個別戦略を確実に進め

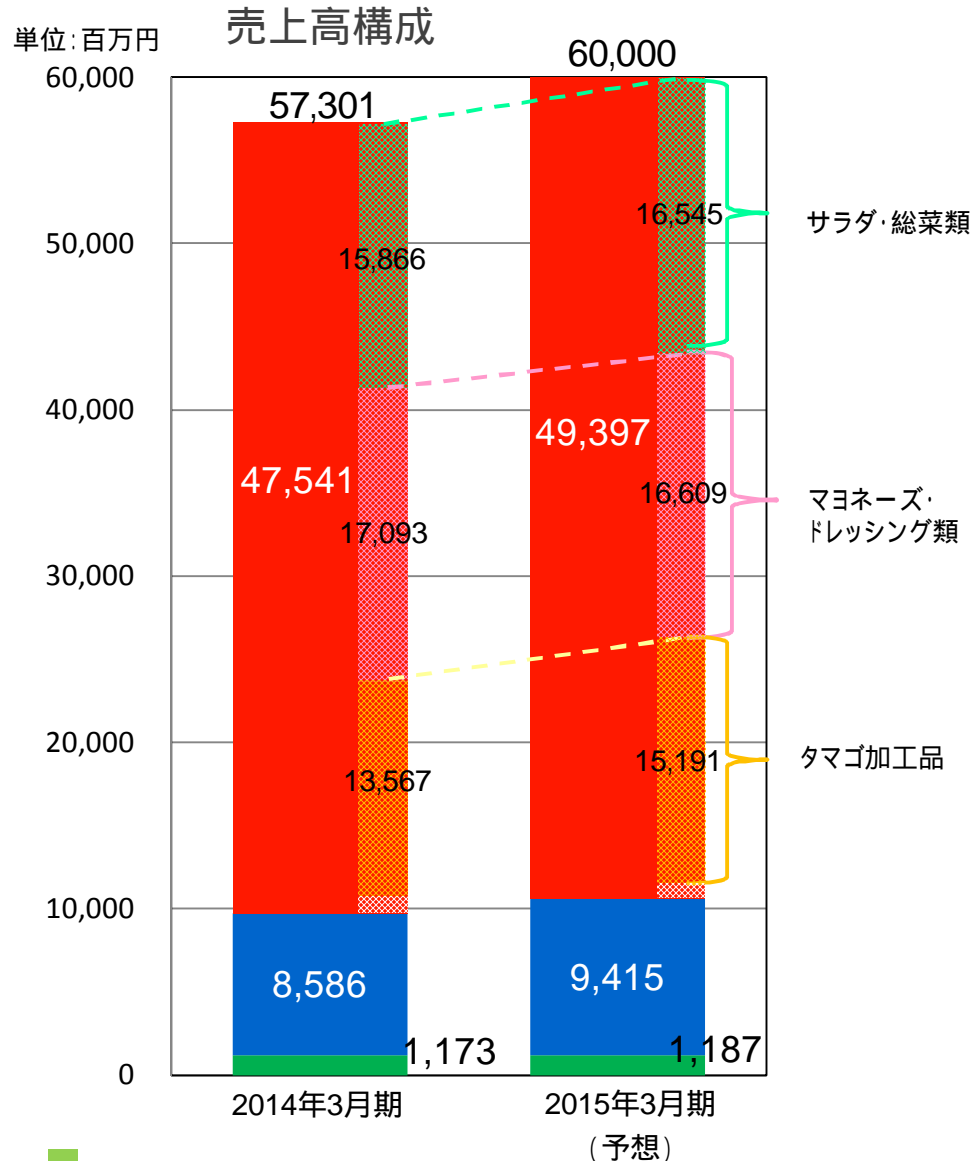
売上高は目標の600億円を、経常利益は27億円の確保を目指す

単位:百万円

	2014年3月期 実績			2015年3月期 予想		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	57,301	-	5.1%	60,000	-	4.7%
売上総利益	14,770	25.8%	0.9%	-	-	-
販売管理費	12,342	21.5%	1.8%	-	-	-
営業利益	2,428	4.2%	12.6%	2,890	4.8%	19.0%
経常利益	2,258	3.9%	12.3%	2,700	4.5%	19.5%
税金等調整前当期純利益	2,215	3.9%	7.3%	-	-	-
当期純利益	1,265	2.2%	10.2%	1,590	2.7%	25.6%
1株当たり当期純利益	89円08銭			111円89銭		

3. 事業別売上高予想（連結）

2015年3月期 業績予想



ポイント

タマゴ加工品の売上高増

- 静岡富士山工場の稼働
- CVS+ の販路拡大
- タマゴ加工品の新商品発売

主力FDF®・小型FDF®の拡充

- 業態別販売戦略の更なる強化
- 「サラダのプロがつくった」
サラダシリーズの販路拡大

総菜関連事業等の売上増

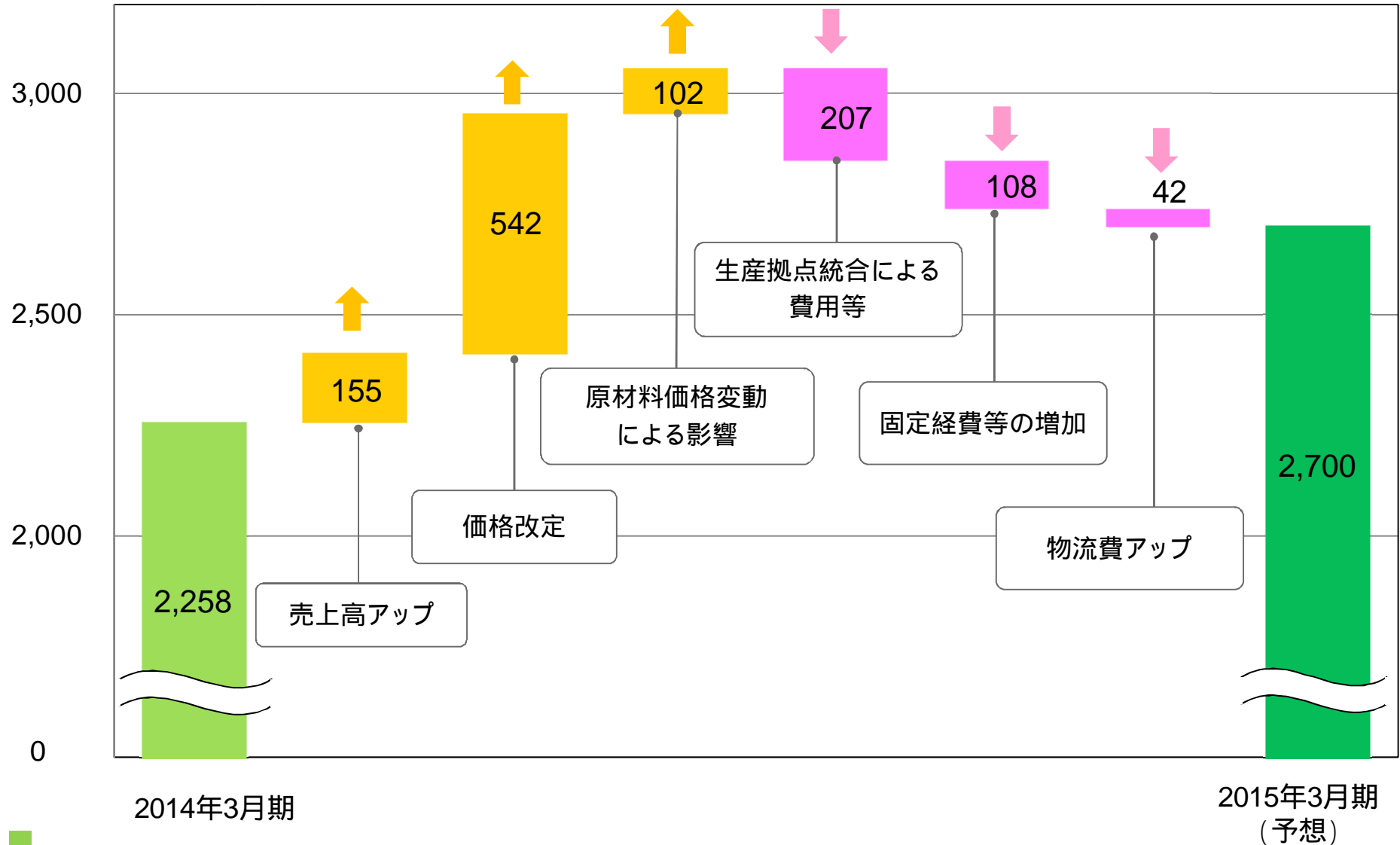
- 量販店を中心とした
フレッシュ総菜等の販売数量増
- 北海道地区限定の
カット野菜が堅調に推移

4. 2015年3月期 経常利益増減予想 (連結)



2015年3月期 業績予想

単位: 百万円



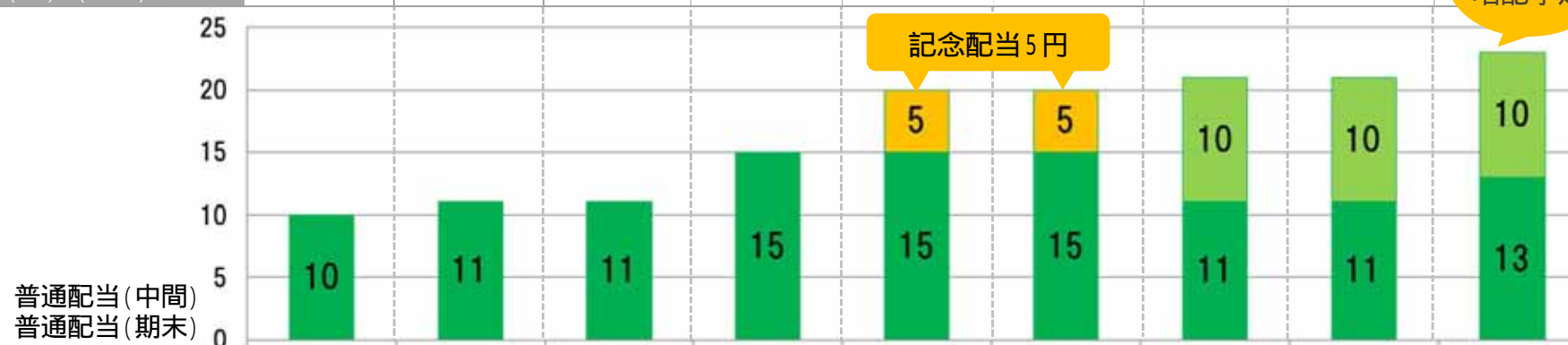
5. 配当政策・株主還元

2015年3月期 業績予想



連結ベースでの配当性向20%を意識をし、配当の継続性に配慮しつつ、
当社の今後の成長と発展にあわせ、安定配当水準を高めていく

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20 ³	20 ⁴	21	21	23
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	23.6	20.6
配当利回り(%) (ご参考) 1	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	2.3	-
純資産(株主資本)配当 率(%) (DOE) 2	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	-



1 配当利回り=1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首 + 期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む

お問い合わせ



- IRお問い合わせ先

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
- 担当者 : 執行役員 経営企画統括室長 渡辺 亮彦
- 電話 : 03-5962-7787
- E mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。